# 授業科目　生理学実習Ⅰ

| 【担当教員名】 | 対象学年 | 1 | 対象学科 | 理学（前半）・作業 |
|---|---|---|---|---|
| 宮岡　洋三、川上　心也 | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |

【ディプロマポリシーとの関連性】

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|---|---|---|---|---|
| ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ |

【概要】

本科目では、「感覚機能、運動機能、心臓・循環機能、呼吸機能、消化機能」について実験的に学ぶ。基礎資料（教科書と生理学サイト、下記）からの情報収集、自分自身や友達を対象とした実験、そして採取したデータの適切な取りまとめを通して生体機能の理解を深める。

【学習目標】

1．本学の「生理学サイト（http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/）」にアクセスし、実習資料を入手できる
2．入手した実習資料を基に、実験遂行に必要な知識を整理できる（必要に応じて、図書館などで参考図書に当たり、資料を適宜加工できる）
3．実習に参加して、学習項目に関する有効なデータを採取できる
4．採取したデータを基に実験結果をまとめ、その生理学的な意味を考察できる
5．まとめたデータへの検討を通して、自分や友達の結果・考察に対してコメントできる

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO番号 | 学習方法・学習課題<br>備考・担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1 | 実習ガイダンス | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 2 | 課題要旨作成に向けた作図・作表実習 | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 3 | 実験項目－１、２ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 4 | 実験項目－１、２ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 5 | 実験項目－１、２ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 6 | 実験項目－３、４ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 7 | 実験項目－３、４ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 8 | 実験項目－３、４ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 9 | 実験項目－５、６ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 10 | 実験項目－５、６ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 11 | 実験項目－５、６ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 12 | 実験項目－７、８ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 13 | 実験項目－７、８ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 14 | 実験項目－７、８ | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |
| 15 | 課題要旨の講評 | | 実習、担当：宮岡　洋三　他 |

| 【使用図書】 | ＜書名＞ | ＜著者名＞ | ＜発行所＞ | ＜発行年・価格 他＞ |
|---|---|---|---|---|
| 教科書<br>（必ず購入する書籍） | 生理学テキスト（第６版） | 大地　陸男 | 文光堂 | 2010・4,800円＋税 |
| 参考書 | | | | |
| その他の資料 | 「生理学サイト」（http://physiol-nuhw.sblo.jp/） | | | |

【評価方法】

成績は「出席（約40%）」と「獲得目標達成度（約60%）」の合計点で評価する。「獲得目標達成度」は、「課題要旨」と「期末試験」によって評価される。

【履修上の留意点】

実習室ならびに実習用具の制約から、上記の「授業計画」にある項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。
「課題要旨」の作成に当たって、先輩や友人のもののコピー＆ペーストなど不正行為があった場合には、本科目の「不合格」を含めた厳しい対応があり得るので呉々も注意する。
なお、客観性と公平性の確保が困難な「実習態度」は評価の対象としないが、明らかに他人の迷惑となっている場合には、退室を求めることがある。